

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都板橋区高島平 1-49-1
園名	桃花小規模保育園 高島平一丁目

1. 活動のテーマ

<テーマ>

文化

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園で行事として例年練習をしている阿波踊りを活かし、地域で 30 年ぶりに行われる商店街阿波踊りや農業祭への参加をしたり、地域のお花屋さんに季節のお花について教えて頂きお正月のフラワーアレンジメントを行ったり、歌舞伎の家元を講師として招き、日本舞踊や歌舞伎を鑑賞体験し、日本所作を学び、歌舞伎隈取体験も行う。

2. 活動スケジュール

令和 6 年 6 月～令和 7 年 3 月にかけ、年間を通して季節に応じた機会を活かし実施する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

阿波踊りに使用するオリジナル法被の追加作成、オリジナル T シャツ・うちわの新規作成。

地域のお花屋さんでお正月飾りを発注し、フラワーアレンジメントについて教えて頂く機会作り。

日本舞踊・歌舞伎・所作を教えて頂ける講師の方へのお声掛けと、内容のご相談。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>



<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

阿波踊りでは、2万人の観衆の前で応援の歓声を浴びながら阿波踊りをすることで、最初は恥ずかしそうにしていた子どもたちも、途中からは「先生、一番前で踊りたい!」「○○ちゃんいっしょにいこう!」と声を掛け合い楽しむ姿が見られた。

隈取体験では、隈取に立候補してくれた園児に対して、他の園児や保育士たちは「かっこよかったよ!!」「がんばったね!」と声をかけ、隈取をした園児も「ありがとう!今日は最高の日だったよ!」と他の園児や保育者に伝えるなど、お互いに感情を共有し合う姿が見られた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

日本舞踊・歌舞伎・所作体験では、子どもたちは初めて見る歌舞伎を食い入るように見つめ、日本の伝統出来なお辞儀や舞踊も楽しみながら真剣に取り組み、その後の園生活では「こう学んだよね」と大人も子どもも互いに声を掛け合って、体験を思い出し主体的に礼儀を重んじて生活するようになった。子どもだけでなく大人たちも初めて経験して学びを得て、一緒に実践することが子どもたちにとっては新鮮で嬉しい出来事なのだという気づきもあった。